

自己点検・自己評価 学校関係者委員会

1. 学校関係者委員会

国立大牟田病院院長 (前非常勤講師)
卒業生保護者

杉 健三 学校長
富松健太郎 副校長
中村 照 理事
学校職員

計 16名

2. 日時 : 2024年4月22日(月) 13時～

3. 議題

1) 2023年度 准看護科 自己点検・自己評価について

2) 2023年度 看護科 自己点検・自己評価について

3) 質問・意見

| 質問・意見 | 回答 |
|--|--|
| ① 外国人入学生について 今年は、准看護科に外国人が入学しているようですが、講義を理解できるくらいの日本語能力があるのか、また7名の外国人を具体的にどのように支援していくのか | 日本語検定の N3 に合格し日常会話はできます。入学前に日本語教育も受けているので、漢字も簡単なものであれば読み書きはできます。しかし専門用語が必要となるので、しばらくは教員が講義に入りサポートしていきます。 |
| ② 学校パンフレットをみると、かなり ICT の活用に力を入れてあるようだが、成果はいかがでしょうか | 病院の ICT 化に対応できるよう、当校は数年前からデジタルテキストを導入しています。 Office365Education の導入で、アンケート、小テスト、講義資料の配信などを行い、ICT の活用はできています。 |

| | |
|---|---|
| <p>③ 教員数の少ない中、准看護師試験の 100%合格を毎年達成できていますね</p> | <p>問題を解いて見直し学習をすることを繰り返しています。また成績が上がらない生徒には個人的に指導しています。</p> |
| <p>④ 国家試験も昨年までは 100%合格を維持していたが、今年は国家試験の合格率が新卒の全国合格率に達していないとあるが、今年の結果を踏まえ次回への具体的な対策は講じてありますか</p> | <p>例年は実習に並行して模擬試験を実施していましたが、今年度は模擬試験の実施の時期や実習終了後の学習計画をどう立てていくか、教員間で検討しているところです</p> |
| <p>⑤ 看護科は、学習支援にチューター制を導入してあるようですが、個別指導になるので、学生と教員間がうまくいかない場合もあると思われれます。そのようなときはどう対処してありますか</p> | <p>他の教員や主任が、関わりをもちじっくり話を聞くことにより関係を築いています。</p> |
| <p>⑥ 世間一般に、昔に比べると、メンタルが弱いといわれていますがいかがでしょうか</p> | <p>令和 5 年度は、両科共にメンタルが原因で数名の生徒学生が退学しています。 以前に比べると確かに、弱くなったと感じます。学校を休みがちなのも事実です。 特に昨年度は、欠席者が多いことが目立ちました。 そのような生徒学生には、面談を行い、傾聴を心がけています。</p> |
| <p>⑦ 入学生が両科共に減少していますが、少子化が大きな原因でしょうか</p> | <p>少子化も大きな原因の一つだとは思いますが、看護大学の増加も大きいと思われれます。 大学全入時代に入り、大学志向が強くなるにつれ、専門学校への入学者が減少してきました。 また、当校の看護科は夜間定時制の為、今の時代敬遠されるので、今後も両科共に定員割れは続くと思われれます。</p> |